

2025 年 2 月 3 日

報道関係者
地域広報関係者 各位

国際日本文化研究センター

第 10 回 日文研－京都アカデミック ブリッジ開催のお知らせ

国際日本文化研究センター（日文研）は、次のとおり、第 10 回 日文研－京都アカデミック ブリッジを開催いたしますので、周知のご協力をよろしくお願いいたします。

発表題目 **岩倉使節団 150 年：マンガで考える日本の近代**

開催日時 **2025 年 3 月 1 日（土）14 時 00 分～16 時 00 分（開場：13 時 30 分）**

開催会場 **京都国際マンガミュージアム** 京都市中京区烏丸通御池上ル（元龍池小学校）

参加料 大人 1,000 円、中高生 350 円、小学生 200 円（京都国際マンガミュージアムへの団体入館料含む）

主催 国際日本文化研究センター、京都新聞

共催 京都国際マンガミュージアム、京都精華大学国際マンガ研究センター、学習マンガ研究会

登壇者

パネリスト：瀧井 一博（日文研教授）

濱田 咲乃（作家、京都精華大学非常勤講師）

伊藤 遊（京都精華大学国際マンガ研究センター特任准教授）

佐藤＝ロスベアグ・ナナ（日文研外国人研究員）

進行：駒居 幸（日文研特任助教）



内容

1871 年、岩倉具視を大使とする総勢 100 名を超える日本人が、2 年近くの長きにわたって西洋諸国を訪れて回る文明視察の旅に出ました。岩倉使節団です。それから 150 年が経ったことを記念して、日文研と京都精華大学／京都国際マンガミュージアムは、岩倉使節団の学習マンガを制作しました。これを通じて、この歴史的なイベントが何だったのかを次世代や世界の他の国々の人たちに考えてもらえたら、と願っています。マンガの完成を機に、岩倉使節団のこと、マンガという表現、教材としてのマンガ、日本研究のテーマとしてのマンガについて、作家と研究者が語り合います。

定員：150 名

申込方法：

参加ご希望の方は、①郵便番号 ②住所 ③氏名 ④年齢 ⑤電話番号 ⑥メールアドレス ⑦参加希望人数（複数名参加希望の場合は全員分の①～⑥）を明記のうえ、はがき、E メールまたは応募フォームでお申し込みください。応募多数の場合は、抽選のうえ当選の方に聴講券を送付いたします。

【はがき】〒604-8567 京都市中京区烏丸通夷川上ル

京都新聞 COM 事業推進局内「日文研－京都アカデミック ブリッジ」係

【E メール】keikaku@mb.kyoto-np.co.jp

【応募フォーム】https://kyoto-np.jp/_KJE2BkA

申込締切：2025 年 2 月 17 日（月）



※ 取材を希望される場合は、京都新聞 COM 事業推進局までご連絡をお願いいたします。

NICHIBUNKEN KYOTO ACADEMIC BRIDGE

第10回

日文研 京都

アカデミック
ブリッジ

岩倉使節団150年：
マンガで考える日本の近代

岩倉
使節団
— The Iwakura Mission —
(1871-1873)

150
年記念事業

マンガ制作

ご来場の方には
オリジナルグッズを
プレゼント!!

要申込

定員150名
(抽選による)

大人:1,000円

中高生:350円

小学生:200円

※団体入館料を含みます

伊藤博文

木戸孝允

大久保利通

岩倉具視

津田梅子

©Illustrated by
Sakino Hamada

2025.3.1(土) 14:00~16:00

講演会会場 開場時間 13:30

京都国際マンガミュージアム
1階多目的映像ホール

(京都市中京区烏丸通御池上ル(元龍池小学校))

主催：大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国際日本文化研究センター、京都新聞

共催：京都国際マンガミュージアム、京都精華大学国際マンガ研究センター、学習マンガ研究会



THEME

岩倉使節団150年：マンガで考える日本の近代

1871年、岩倉具視を大使とする総勢100名を超える日本人が、2年近くの長きにわたって西洋諸国を訪れて回る文明視察の旅に出ました。岩倉使節団です。それから150年が経ったことを記念して、日教研と京都精華大学／京都国際マンガミュージアムは、岩倉使節団の学習マンガを制作しました。これを通じて、この歴史的なイベントが何だったのかを次世代や世界の他の国々の人たちに考えてもらえたら、と願っています。マンガの完成を機に、岩倉使節団のこと、マンガという表現、教材としてのマンガ、日本研究のテーマとしてのマンガについて、作家と研究者が語り合います。



パネリスト 瀧井 一博 (たきい かずひろ)
日教研 教授

京都大学大学院法学研究科博士後期課程単位取得退学、博士(法学)。京都大学人文科学研究所助手、神戸商科大学助教授、日教研准教授等を経て、2013年7月より現職。専門分野は国制史、比較法史。主要著作に『史(フミ)としての法と政治——書を紐解き、人を考え、時代を読み解く』(2024年)、『増補 文明史のなかの明治憲法——この国のかたちと西洋体験』(2023年)などがある。



パネリスト 伊藤 遊 (いとう ゆう)
京都精華大学国際マンガ研究センター特任准教授

2006年大阪大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得退学、修士。「京都国際マンガミュージアム」開館(2006年)に関わる。同館研究員を経て、2020年4月より現職。専門はマンガ研究・民俗学。マンガ研究におけるテーマの一つは「学習マンガ」で、それに関する論文としては、「伝記学習マンガ」を形作るもの(山田奨治編著「マンガ・アニメで論文・レポートを書く」「好き」を学問にする方法」ミネルヴァ書房、2017年、共著)などがある。



パネリスト 濱田 咲乃 / 濱田 一
(はまだ さきの / はまだ いち)

作家／京都精華大学 非常勤講師
京都精華大学マンガ学部ストーリーマンガコース卒業。フリーランスの作家として、実用マンガや機能マンガの制作を行いながら、京都精華大学の非常勤講師としても活動の幅を広げる。また、京都新聞ジュニアタイムズの「マンガ京・妖怪絵巻」や「懐かしと思う君は誰」(原作：染谷リキ、漫画：濱田一、発行：講談社)ではマンガ作画を担当し、全3巻で発売中。



パネリスト 佐藤＝ロスベアグ・ナナ
(さとう ろすべあぐ なな)

日教研 外国人研究員／ロンドン大学東洋中東アフリカ研究学院教授
2007年立命館大学大学院先端総合学術研究科博士課程修了、学術博士。北京清華大学講師、イーストアングリア大学講師を経て現職。専門は翻訳学。著書に『文化を翻訳する——知里真志保のアイヌ神謡訳における創造』(2011年)、『学問としての翻訳——『季刊翻訳』『翻訳の世界』とその時代』(2020年)、編著に『翻訳と文学』(2021年)、共編著に「Diverse Voices in Translation Studies in East Asia」(内山明子との共編、2019年)などがある。

進行 駒居 幸 (こまい さち) 日教研総合情報発信室 特任助教

人間文化研究機構 人間文化研究創発センター 研究員(人文知コミュニケーター)。2019年、筑波大学大学院人文社会科学研究科単位取得退学。2022年、同大学院で『失われた二〇年と女たちのノワール——桐野夏生初期作品論』にて博士(文学)。筑波大学特任研究員、新潟大学URAを経て2023年7月より現職。専門はカルチュラル・スタディーズ、日本近現代文学。人文知コミュニケーターとして、人間文化研究と社会をつなげる活動に取り組んでいる。

参加申し込み方法 締切：2025年2月17日(月) (必着)

参加ご希望の方は、①郵便番号 ②住所 ③氏名 ④年齢 ⑤電話番号 ⑥メールアドレス ⑦参加希望人数(複数名参加希望の場合は全員分の①～⑥)を明記のうえ、はがき、Eメールまたは応募フォームでお申し込みください。

応募多数の場合は、抽選のうえ当選の方に聴講券を送付いたします。

〈はがき〉〒604-8567 京都市中京区烏丸通夷川上ル

京都新聞COM事業推進局内「日教研—京都アカデミックブリッジ」係

〈Eメール〉keikaku@mb.kyoto-np.co.jp

〈応募フォーム〉https://kyoto-np.jp/_KJE2BkA



【応募フォーム】



〒604-0846 京都市中京区烏丸通御池上ル(元龍池小学校)
TEL: 075-254-7414(代) FAX: 075-254-7424

<https://kyotomm.jp> X @kyotomm

- 京都市営地下鉄／烏丸線・東西線「烏丸御池」駅北改札口2番出口すぐ
烏丸御池交差点の北西角(ハローワーク前)から烏丸通を北へ50m
- 京都市バス／15、51、65系統「烏丸御池」停留所下車すぐ

※駐車場はございませんので、徒歩または公共交通機関をご利用ください

